

「AGS企業リスク格付」信用スコアリングモデルの見直しについて

- ◎ 「AGS企業リスク格付では、経済状況によって変化する企業倒産の動向を反映させるため、格付判定の心臓部である信用スコアリングモデルの見直しを毎年行っております。
- ◎ スコアリングモデルを新しいモデル(2020年モデル)に移行しました。
- ◎ これにより、一部企業の信用格付の判定結果に影響がありますので、あらかじめお知らせします。

1. 現行モデルの評価(下表参照)

- ① 東京商工リサーチ社の全国企業倒産状況によると2019年の倒産件数は約8,383件となり、倒産件数はリーマン・ショック時の2008年(1万5,646件、前年比11.0%増)以来、11年ぶりに前年を上回りましたが、1990年以降の30年間で1990年(6,468件)、2018年(8,235件)に次ぎ3番目に少ない水準となっております。AGS企業リスク格付で格付可能な企業をみると、倒産件数は前年同期より32件減少し1,883件となっております。
- ② AGS企業リスク格付の直近の倒産率の実績においては、倒産件数の減少及び、格付可能企業数の増加の影響により低下傾向が続いております。

直近12ヶ月間(2019/9~2020/8)

格付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
倒産率(%)	0.03%	0.01%	0.04%	0.08%	0.14%	0.19%	0.29%	0.54%	1.10%	0.18%
倒産件数	7	9	53	141	287	330	369	349	338	1,883
平均企業数	24,757	77,984	132,926	186,610	209,416	169,552	125,430	65,045	30,786	1,022,506

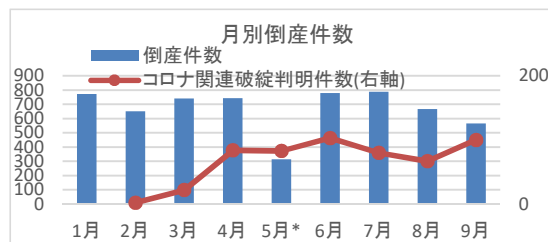
注)倒産率実績を算出したデータ(企業数、倒産件数)の詳細については、「過去の倒産実績」をご参照下さい。

注)倒産率の対象となる企業はAGS企業リスク格付で格付可能業種、期間のみであります。

2. 新型コロナウイルス関連倒産状況

東京商工リサーチ社の情報によると、「新型コロナ」関連の経営破たん(負債1,000万円以上)が判明している件数は9月末現在で2月からの累計で541社となっております。政府や自治体の資金繰り支援効果により一時減少傾向にありましたが、8月以降増加傾向がみられます。但し全体の倒産数は減少傾向となっておりますが、コロナ関連倒産の比率は高まっています。今後も事業環境の悪化が続くようだと、体力のない中小企業からの経営破綻が懸念されます。

コロナ禍において減収・減益を余儀なくされる状況が続く中であらゆる業種で体力のない企業から倒産が発生する可能性があります。顧客の減少、インバウンド需要消失、旅行、出張の自粛などの要因により特に、アパレル、飲食、宿泊業については今後も注意が必要になってきます。



*緊急事態宣言を受け各地の裁判所の業務が滞ったため数が減少

3. 新モデル(2020年モデル)の特徴および改善点

上記の評価結果を踏まえ、以下の通りスコアリングモデルの変更を行いました。

- ① コロナ禍において中小企業支援策は一定の効果はありましたが、今後も売上が伸びない状況が続くと予想される中、中小企業はより厳しい資金繰りが続きます。減収減益の中、手元資金が乏しい企業はより厳しい状況となるため、企業の体力(資本、流動性、支払能力)を重視し、今年度のモデルを構築しました。
- ② 今後1年間の倒産件数はコロナによる倒産はありますが、件数的には昨年と比べても急激な増加はなく、前年同様8,400件程度(法人倒産のみ、個人事業主の倒産は除く)で推移するものと予測して格付判定の基準を設定しました。
- ③ 新モデルでは現行モデルと比較して57%の企業に変化があります(40%が1段階の変化)。その比較については下記のとおりです。

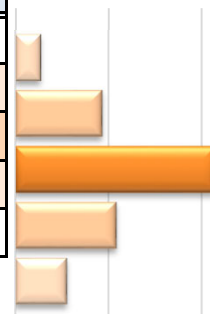
格付が改善する企業・・・24.1%(うち1ランク改善18.7%)

格付に変化ない企業・・・43.1%

格付が悪化する企業・・・32.8%(うち1ランク悪化21.7%)

業種(6業種分類)別現行モデルとの判定結果比較表

業種	建設	製造	卸	小売	サービス	その他	全体
格付が2段階以上改善	4.4%	3.1%	4.3%	6.3%	9.0%	6.1%	5.5%
格付が1段階改善	17.8%	14.6%	20.6%	15.3%	21.4%	20.8%	18.7%
格付に変化なし	53.7%	42.1%	43.4%	33.4%	37.9%	38.7%	43.1%
格付が1段階悪化	17.3%	27.1%	21.4%	23.5%	19.7%	24.0%	21.7%
格付が2段階以上悪化	6.8%	13.1%	10.3%	21.5%	12.0%	10.4%	11.1%



4. 新旧スコアリングモデルの詳細比較

2020/9 評価用データによる比較

格付		1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	
登録企業数 (①) (2020/9)	2019年モデル	Aモデル	10,316	26,163	39,755	58,976	65,419	52,750	34,941	19,333	14,183	321,836
		Bモデル	14,506	50,793	90,761	126,388	143,253	115,542	88,785	45,179	17,129	692,336
		A+B(①)	24,822	76,956	130,516	185,364	208,672	168,292	123,726	64,512	31,312	1,014,172
	2020年モデル	Aモデル	8,653	24,132	40,187	55,843	71,782	53,235	36,439	17,736	13,829	321,836
		Bモデル	14,560	44,241	73,549	117,691	136,587	120,703	107,157	59,082	18,766	692,336
		A+B(①)	23,213	68,373	113,736	173,534	208,369	173,938	143,596	76,818	32,595	1,014,172
倒産件数 (②) (2019/9 ~2020/8)	2019年モデル(②)	7	9	53	141	287	330	369	349	338	1,883	
	2020年モデル(②)	1	14	37	131	264	288	419	382	347	1,883	
倒産率 (②÷①)	2019年モデル倒産率	0.03%	0.01%	0.04%	0.08%	0.14%	0.20%	0.30%	0.54%	1.08%	0.19%	
	2020年モデル倒産率	0.00%	0.02%	0.03%	0.08%	0.13%	0.17%	0.29%	0.50%	1.06%	0.19%	

Aモデル: 財務情報・企業情報に基づいて判定

Bモデル: 企業情報に基づいて判定

